



自然および万物に関する知識および慣習



©National Center for Cultural Heritage of Mongolia



口承による伝統および表現



©2013 Viet Nam Institute of Culture and Arts Studies

無形文化遺産とは？

無形文化遺産は私たちの生活の中にあるものです。たとえば、口伝えで語り継がれてきた物語、伝統的な音楽や劇などの芸能、風習、祭りや儀式、代々受け継がれてきた知識や技、工芸技術など、さまざまです。無形文化遺産はコミュニティや集団の中で生まれ、時代とともに変化しつつも、世代から世代へ受け継がれ、人々にアイデンティティを与え、暮らしに豊かさを提供するものです。そして、コミュニティの復興や活性化にも大きな役割を果たしてくれます。しかし、無形文化遺産は一度継承が途絶えてしまうと、その再興は非常に困難になります。継承する私たち一人ひとりが主体となって、次世代に伝えていくことが重要となります。

IRCI
アジア太平洋無形文化遺産研究センター

International Research Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region

PRELIMINARY RESEARCH ON ICH SAFEGUARDING AND RISK MANAGEMENT IN THE ASIA-PACIFIC REGION
PROJECT REPORT (MARCH 2010 - FEBRUARY 2011)

詳しい活動内容・出版物などはウェブサイトよりご覧いただけます
<https://www.irci.jp/jp/>



孫太夫山古墳
大仙公園
堺市博物館
IRCI

関西国際空港からのアクセスの場合
関西国際空港▶(JR 関西空港線)▶
鳳駅▶(JR 阪和線)▶百舌鳥駅▶
(徒歩 6分)▶IRCI

大阪国際空港からのアクセスの場合
大阪国際空港▶(リムジンバス)▶
難波駅▶(南海高野線)▶
三国ヶ丘駅▶(JR 阪和線)▶百舌鳥駅▶
(徒歩 6分)▶IRCI

アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI)
大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 堺市博物館内
TEL: 072-275-8050 FAX: 072-275-8151

IRCI

International Research Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region

独立行政法人 国立文化財機構
アジア太平洋無形文化遺産研究センター



社会的慣習、儀式および祭礼行事

伝統工芸技術



芸能

アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI) は、アジア太平洋地域を中心に、無形文化遺産の保護に貢献するための調査・研究を実施しているユネスコのカテゴリ2センターです。

近年、世界各地でグローバル化や自然災害、紛争などによって、地域特有の文化が失われつつあります。多様な文化を保護し、継承していくことは、その地域の資産を守り、次世代に豊かな社会を引き継いでいくことに繋がります。

IRCIは、ユネスコをはじめ、国内外の大学、研究機関、博物館、地方自治体、コミュニティ関係者、政府および非政府組織などと連携し、実践的な調査・研究を通して、無形文化遺産の保護の充実と促進に努めています。

IRCIは多様な研究を通じて、 アジア太平洋地域の 無形文化遺産の 保護を推進しています

持続可能な開発への貢献

貧困やジェンダーの不平等などの課題を解決するための持続可能な開発目標(SDGs)に、無形文化遺産がどのように貢献できるかを研究しています。掲げられた目標の中で、目標4「質の高い教育をみんなに」を推進するため、無形文化遺産の学校教育や社会教育における活用を研究し、持続可能な社会の実現に貢献します。



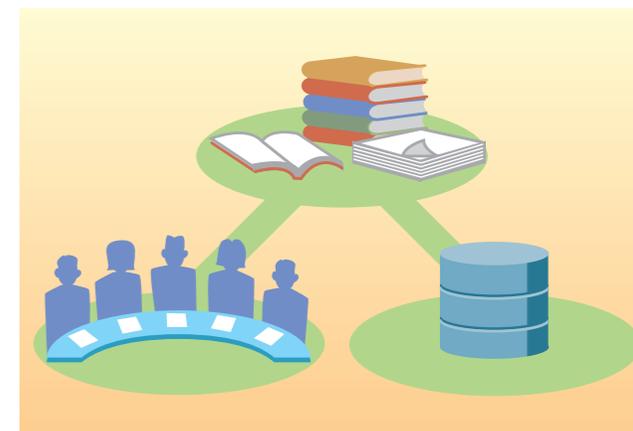
研究者フォーラム・ 国際会議・シンポジウム

研究者間のネットワークを強化し、無形文化遺産保護のための研究を促進することを目的に、研究者フォーラムや国際会議を開催しています。また、一般市民向けにも、無形文化遺産の理解を深め、重要性の認識を高めることを目的に、シンポジウムを開催しています。



研究のマッピング (情報収集・分析・発信)

アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関連する研究情報の収集や分析を行っています。文献、研究機関、専門家についての情報を収集し、IRCI研究データベースより発信しています。この分析過程で明らかになった課題は、研究者間の国際会議などで議論しています。



紛争後の無形文化遺産保護

アフガニスタン、東ティモールなどを対象として、紛争の影響により消滅や継承の危機が懸念されている無形文化遺産を緊急的に保護するための研究を進めています。現存する無形文化遺産の実態を把握し、その地域の状況に見合った調査方法や有効な保護手段について検討し、無形文化遺産の復興に貢献していきます。



自然災害と無形文化遺産

台風、地震、津波、火山噴火などさまざまな自然災害と無形文化遺産の関係について、フィリピンやバヌアツなど災害の多い地域を中心に調査しています。自然災害による無形文化遺産への被害の実態や地域の防災に有効な無形文化遺産の役割に注目し、災害時の無形文化遺産の保護や活用を推進します。

